



JCF 学生映画祭実行委員会
実行委員長 高 秀蘭

初の鹿児島県開催！

第17回 JCF 学生映画祭 in 奄美大島&与路島の開催についてのお知らせ

特別招待作品【マイクロプラスチック・ストーリー～僕らが作る2050年～】の上映決定と 開催プログラム【与路島プログラム】の詳細について

はじめに、このたびの能登半島の地震で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

被害を受けられた皆様が一日でも早く平穏な生活に戻られますことを心よりお祈り申し上げます。

1999年に、ゆうばり国際ファンタスティック映画祭(現在の同名の映画祭と違い、夕張市が主催していた映画祭)の10周年特別協賛企画として、夕張市から、学生のサークル団体の連盟であるJCF日本サークル連盟に開催誘致があり、第一回を夕張市で開催致しました。【才能の発掘と育成】を合言葉に、その後、北海道、山形県、東京都、長野県、愛知県、大阪府、鳥取県、香川県、沖縄県の全国で、これまで16回開催して参りました。

前回の第16回は、コロナ禍の環境下、オンライン上映会とあわせた開催となりましたが、この度、初の九州エリア・鹿児島県奄美大島で通常の形式で 第17回 JCF 学生映画祭を開催させていただきます。

当学生映画祭では、大学生の映画研究会や同好会、芸術系大学、専門学校の学生の皆さんが制作した作品を対象としたアワードの開催と、その受賞監督を対象に新作支援を行うスカラシップ(JCFスカラシップ制度)が特徴で、学生の将来の夢への支援を映画業界団体の方々のご協力のもと実施して参りました。

歴代の受賞学生監督やスカラシップ授与学生監督は、卒業後、プロの現場で数多く活躍しており、『君の膵臓を食べたい』等のメジャー作品の監督である月川翔(つきかわ しょう)監督(第5回 JCF 学生映画祭グランプリ受賞・JCFスカラシップ授与監督)等を輩出しております。

この度の奄美大島&与路島での開催におきましては、下記の通り、3月8日、9日開催の【与路島プログラム】と、3月23日、24日開催の【奄美大島プログラム】を予定しております。

従来の学生映画のコンペティション部門である【学生映画アワード】プログラムに加え、世界自然遺産登録された素晴らしい自然環境の奄美大島での開催にちなみ、絶滅危惧種の保護活動に取り組む『Save the Red List ROJECT』との共催、一般社団法人ナショナルパークスジャパンの後援により、野生生物の保護活動に関するプログラムを予定しております。

過去の第14回 JCF 学生映画祭のスカラシップで取り組んだ、アマミノクロウサギ保護啓発映像『Nature Bubble』(監督:長尾 淳史)の上映や、マイクロプラスチックの問題に、ニューヨーク・ブルックリンの小学5年生の子供たちが取り組む姿を追ったドキュメンタリー映画【マイクロプラスチック・ストーリー～ぼくらが作る2050年～】(監督:佐竹敦子・制作:NPO 団体カフェテリアカルチャー)を与路島プログラム、奄美大島プログラム各会場で特別招待作品として上映させていただきます。

ぜひ、これを機に与路島・奄美市の会場の足を運んで頂けたら幸いです。

また、学校関係・学生映像団体の皆様におかれましては、2024年3月5日まで、作品を募集しております。

熱き作品のご応募をお待ちいたしております。

【特別招待上映作品】

「マイクロプラスチック・ストーリー～ぼくらが作る 2050 年～」

佐竹敦子監督・制作:NPO 団体カフェテリアカルチャー



「マイクロプラスチック・ストーリー～ぼくらが作る 2050 年～」は、ニューヨーク・ブルックリンの小学生 5 年生の生徒たちが、プラスチック汚染問題の根っこは何なのか? という生徒たちの視点で問いただし、解決に向かって生徒たちが居住する地域からアクションを広げて行くまでの 2 年間の取り組みを、日本人の佐竹敦子監督が追った長編ドキュメンタリー映画作品です。

制作はニューヨーク市を拠点とする非営利の環境教育団体カフェテリアカルチャーで、2009 年に Styrofoam Out of Schools として創設され、ニューヨーク市内の公立小中学校での環境教育プログラムを活動基盤とし、常に学校を拠点とした政策提言活動やプラスチック削減のキャンペーンを実施しています。子ども達のまっすぐな熱意から希望が滲み出るマイクロプラスチック・ストーリーは、世界 44 の映画祭に選ばれ 8 つの賞を受賞しています。

【特別招待上映作品】

「絶滅危惧種の保護活動 Save the Red List Project 作品 上映

アマミノクロウサギ保護啓発映像『Nature Bubble』

長尾敦史監督・JCF スカラシップ作品



第 14 回 JCF 学生映画祭映画部門へ「マインドギア」で短編部門準グランプリを受賞した長尾敦史監督（立命館大学）が、絶滅危惧種の保護活動【Save the Red List Project】に取り組むエルムスユナイテッド動物病院グループのご協賛で「JCF スカラシップ作品」としてアマミノクロウサギ保護啓発映像『Nature Bubble』を 2017 年に制作し特に旅行者のロードキル防止の啓発活動を実施致しました。

【三線演奏・島唄】

里 朋樹(さと ともき)

1990 年生まれ。奄美大島の唄者中野豊成の教室でシマ唄・三味線を習い始め、2001 年 5 月に「第 22 回奄美民謡大賞」少年の部・優秀賞、2002 年 5 月 「第 23 回奄美民謡大賞」少年の部・最優秀賞を受賞。

【特別基調講演】『与路島の歴史について』

学芸員：町 健次郎(まち けんじろう)

郷土記念館の学芸員で与路島を含む奄美大島の歴史に精通。

【与路島プログラムについて】

与路島プログラム・会場：与路島 公民館

3月8日（金曜日）		
18:00	開会式	ご挨拶 与路集落 信島豊武（のぶしま とよたけ）区長より
	開会歓迎の島唄	三線演奏・唄者 唄者・里朋樹（さと ともぎ）さんの島唄
	基調講演	『与路島の歴史について』 学芸員・町 健次郎（まち けんじろう）
	学生映画監督スカラシップ作品 上映	
	学生映画監督作品 上映	
	交流会	
3月9日（土曜日）		
8:30	開催地プロモーション	島内案内 与路島観光協会
10:00	地元の小中学校生徒と交流	レクリエーション 与路島小中学校
13:00	お言葉	ご挨拶 与路小中学校 川井 功作校長より
	招待作品上映「マイクロプラスチック・ストーリー～ぼくらが作る2050年～」	（監督：佐竹敦子・制作：NPO団体カフェテリアカルチャー）
	学生映画監督作品 上映	大学生の作品
	閉会式	与路島観光協会 榮勝永（さかえ かつなが）会長より

【第17回 JCF 学生映画祭 in 奄美大島&与路島開催概要】

■名 称：第17回 JCF 学生映画祭

■開催目的：『才能の発掘・育成』

■URL：<http://jcf.jpn.com/17th/>

■開催日・場所

- ・与路島路島プログラム：2024年3月8日(金)・9日(土)・会場：鹿児島県奄美大島与路島公民館
- ・奄美大島プログラム：2024年3月23(土)～24日(日)・会場：アマホームプラザ

■主 催：JCF 学生映画祭実行委員会

■共 催：絶滅危惧種保護プロジェクト・Save The Red List Project/与路島観光協会

■実行委員会メンバー

- ・実行委員長：高 秀蘭(映画プロデューサー)
- ・実行委員：大和田 廣樹(映画プロデューサー)
- ・実行委員：太田 雅人(GETTIグループ代表・JCF スカラシップ委員長)
- ・実行委員：荒川弘之(株式会社エルムスユナイテッド動物病院グループ代表)
- ・実行委員：立石聡明(株式会社 TARGET 代表取締役社長)
- ・顧問：久保健太(Save The RED LIST Project 事務局長)
- ・顧問：リチャード・ピアス(一般社団法人ナショナルパークスジャパン理事)
- ・顧問：小澤智雄(株式会社ウェブスクウェア代表取締役)
- ・事務局長：東條勝弘(EU ガイダンス・サステナブルツーリズムジャパン代表)

■制作運営：第17回 JCF 学生映画祭 in 奄美大島&与路島事務局

■協 力：NEW WAVE / ドリームキッド / サステナブルツーリズムジャパン / 与路島小中学校

■後援・協力：一般社団法人ナショナルパークスジャパン/AnimalHospital HeadLine News/E-Animal Hospital

■事務局：第17回 JCF 学生映画祭 in 奄美大島&与路島事務局

住 所：神戸市東灘区御影3丁目2番11号 (株)TARGET DX 内

担当：東條・久保

URL：<http://jcf.jpn.com/17th/>

以上